

※文字の大きさは Meiryō UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。  
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真 1) (表 1) などと文中に記載し、右ページに(写真 1) (表 1) などと表記の上、貼り付けてください。  
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。  
 ※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

※事務局記入欄

【様式 2】

No. C-58

<b>部門名:</b> 地域とともにある 学校実践部門	<b>エントリー名:</b> 鹿児島県立徳之島高等学校 平野 良光
<b>活動名:</b> 描け、「徳高ビジョン」! ~前例踏襲体質からの脱却~	
<b>解決すべき課題:</b> 「離島だから」という意識と「暗黙知」が、生み出す前例踏襲体質。 ・標準 4 年という勤務年数の短さから、業務やノウハウ、人脈の継承がされにくい。また、志半ばで異動となる教員も少なくない。その悪循環が業務に影響し、新しいアイデアが生まれにくく、前例踏襲になりがちであった。個々は努力しているが全体で繋がりにくく、結果として生徒へもその影響が顕れていた。 ・学校組織マネジメント研修から、現状を分析し、それぞれの活動を組織的に行うことが課題と感じた。また、地域と繋がり、ビジョンを共有することで学校のプレゼンス(存在意義)をアピールする必要がある。	
<b>目標・方針:</b> 現状分析からビジョンと戦略を策定し、共有・継続化できる仕組み作りを行う。 (1) 日常の中で感じる違和感、改善の余地がある部分、強みをリスト化する。(現状分析) (2) わかりやすいキャッチフレーズで目指す姿、ミッションとビジョンを明確化する。 (3) 自己のプレゼンスを意識しながら、少しずつ、新たな取り組み、小さな改善を積み重ねる。 (4) 地域と繋がり、連携しながら島全体で組織的に戦略を策定し、その継続を目指す。	
<b>活動内容:</b> 組織マネジメントの意識化と、ミドルアップダウンマネジメントの推進。 (1) 「総合的な探究の時間」のカリキュラムを新たに開発、地域貢献に重点を置いた。 (2) 手帳指導を導入し継続的な PDCA サイクルを生み出す「主体的に学ぶ生徒の育成」を図った。 (3) ビブリオバトルを導入、読書活動と言語活動の充実を目指した。 (4) 日常業務の大幅な ICT 化を進め、職員の負担軽減を図った。	
<b>活動の成果:</b> 現状は「変えられる」「変わる必要がある」ということを教師も生徒も実感!地域へもメリットが! ・一月で 20 以上のデータになっていた職員朝礼の資料が、2 つになり、10 分の 1 となった。 ・手書きからデータ作成の成績個票になったことで、職員の負担が大幅に減少した。 ・校内弁論大会にて、生徒から「変えられた」という経験で、自信がついたという発表があった。 ・「手帳が無いと不安になる」という生徒が出始めた。 ・学校と行政や企業などが連携した取り組みが増加し、繋げていく仕組みが見えてきた。地域き活性化検討委員会も企画、このような機会の創出は今までに例がなく、「島が変わるのでは」という期待の声も聞かれた。	
<b>アピールポイント (アイデアや工夫):</b> 行事や取り組みを「キャッチコピー」でリンク。 ・「徳高〇〇」というフレーズを頻繁に使い、各教員の取り組みが連動した繋がりがあるというイメージを持てるようにした。 例: 徳高プライド、徳高ブランド、徳高ストア、徳高タイム、徳高ラボ ・全校集会や講演会、朝読書やテスト範囲の記入などあらゆる場面で手帳を持参、活用することで校内の風景が変わった。「手帳を持って、手帳を開いて」を校内放送で流した。	

## 徳高プライド 徳高ブランド (合言葉, スローガン)

### 手帳指導, 徳高タイム



### 徳高ストア



### 徳高ラボ





学校組織の活性化

小さな改善の連続

全校生徒で手帳を活用するのは徳之島高校が、鹿児島県下でも先進的取組。生徒自身が自らを成長させるツールとして、あえてアナログで日々の学校の生活や学習に活用し、継続的な PDCA サイクルを生み出す「主体性に学ぶ生徒の育成」を目的とした。



NIE の推進, 発想法の練習



ソクラテスマーティング



徳高の舞 (全校応援)

学校オリジナルの応援歌、「Your story」に振り付けをつけ、文化祭で披露した。

### 地域との連携



## ビジョンの共有, 継続化

### 地域活性化検討委員会





令和元年度 徳之島町インターンシップ教育事業

島内の 3 つの町から役場関係者や地域おこし協力隊を招いた。